

# 誠 風

与論島は日本列島に残された最後のパラダイスである

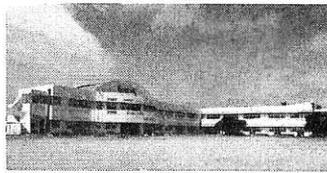
## 校訓「至誠」

与論町立与論小学校 校長 曾木 秀二

平成29年度、創立142年の歴史と伝統を誇りとする我與論校は、99名の児童と15名の職員でスタートしました。4月下旬と8月下旬に職員が増え、現在職員17名です。校訓「至誠」は、島是「誠の心」であり、不偏不朽の人間教育の根本・理想であると考え、「真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる」をモットーに日々の教育活動を展開しています。キャッチフレーズは、「Smile No.1」で、自分の思いや考えを伝え、相手の思いや考えも受け止められる笑顔のあふれる学校をめざしています。保護者や地域の方々、OB関係者の御理解と御協力を得ながら、いずれ島立ちする子どもたちのために、一人一人を大切に教育に取り組んでいます。

### ＜与論小の142年 地域とともに歩む歴史＞

本校は、明治8年4月に民家を借りて学問所を設置し、明治20年4月尋常科・高等科に改め簡易小学校に指定、明治30年3月簡易小学校を廃し与論尋常小学校と改称、明治32年4月朝戸川渡（現在地）に校地を購入し校舎を新築しました。その後、昭和16年に全国の小学校は国民学校と改称、昭和23年4月に六・三制実施により与論小学校と改称され、新制中学校が設立され、昭和38年1月に町制施行のため与論町立与論小学校となり、現在に至っています。



### ＜平成29年度の学校の概要＞

#### 1 教育目標

意欲的に学び、よく考え、豊かな感性と確かな学力を身に付けた、たくましい子どもを育てる。

#### 2 めざす子ども像

- 進んで学ぶ：課題をもち、意欲的に学習する子ども
- 深く考える：よく考え、誠の心で行動する子ども
- やりぬく：目標をもち、がんばる子ども

#### 3 めざす学校像

- 期待して登校し、満足して下校する夢のふくらむ学校
- 歴史と伝統を大切に、地域とともに進む学校
- 職員・児童共に汗を流し、花と緑に囲まれた学校

#### 4 めざす保護者像

- 子どもと読書を共にし、夢語り合う保護者
- 子どもに手伝いをさせ、体験させる保護者
- 郷土の文化を大切にし、連携し合う保護者

#### 5 本年度の重点目標

- (1) 確かな学力（読み書き算・思考力・判断力・表現力）の向上に努める。
- (2) 郷土に立脚した教育活動を推進し、愛郷心を育てる。
- (3) あいさつや読書、自他を大切にする指導を通して、豊かな心を育てる。
- (4) 気力・体力・保健指導の充実を図る。

### ＜「与論色づくりプラン」（「ふるさと与論」を誇りに思う心を育成する活動）の実践＞

#### 1 ユンヌフトゥバ学習

各学年年間10時間ずつユンヌフトゥバ学習を取り入れ、月1回ゲストティーチャーを招いて学習しています。「ゆんぬふとうばカルタ」を活用した「ふれあい交流会」を11月実施予定です。



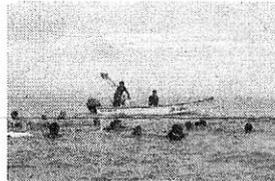
【ユンヌフトゥバ学習】



【ふれあい交流会】

#### 2 遠泳大会

一校三運動の一つとして遠泳を位置づけ、多数の保護者や地域の方々の協力を得て6月30日（金）に第37回遠泳大会を実施しました。



【遠泳大会】



【学習発表会】

#### 3 与論十五夜踊り・エイサー・三線教室

与論の伝統的な文化である与論十五夜踊りとエイサーを中・高学年で学習し、保護者や地域の方々に御指導いただき、運動会で披露します。三線教室は、夢育成事業の一環として土曜日の午後10回程度実施し、学習発表会やヨロン・おきなわ音楽交流祭で成果を披露する予定です。



【与論十五夜踊り】



【エイサー】

【九州地区子ども会ジュニア・リーダー大分大会  
及び大島地区ジュニア・リーダー研修会に参加して】

与論中学校 1年 中野 凌雅

私は、夏休みに開催された、2つの研修会に参加しました。最初に、7月25日～29日まで奄美大島で開催された大島地区研修会で学んだことを2つお話しします。

1点目は、ハンセン病についてです。国立療養所奄美和光園に行き、園長の加納さんからハンセン病について講義をしていただきました。ハンセン病とは、痛みの感覚がなくなり、顔の形も変わってしまう皮膚の病気です。昔は不治の病とされていたため、一度入所すると退所できず、半永久的に隔離されていたそうです。その見た目から偏見や差別が生まれ、大きな問題になりました。この講義を聞いて、ハンセン病のことがとてもよく分かり、本人や家族の方がどれほどつらい思いをしたのかもよく分かりました。2点目は、広報の仕方についてです。広報とは、CMなどの宣伝の事で、「しーまブログ」代表の深田さんから講義をして頂きました。講義の後、4人グループをつくり、それぞれの出身市町村のお祭りを付箋に書き出しました。良く知られているものとそうではないものの2種類に分け、広幅用紙に貼っていき、祭りの内容をグループごとに発表しました。資料などを用いて、相手に自分の伝えたいことを分かりやすく伝えるにはどのようにすべきかを学びました。

次に、8月16日～21日に大分県で開催された、九州地区子ども会大会で感じたことを2つお話しします。1点目は、「九重の魅力バスハイク」に行った時の事です。このバスハイクでは、まず八丁原地熱発電所に行きました。国内最大の地熱発電所で、発電能力は、年間約8億7千万キロワット、ほぼ20万キロリットルの石油を節約できるそうです。地球のマグマの熱で発電できるので、石油を使わず環境にやさしいということを知りました。次に「九重」夢”大吊橋”を渡りました。高さ173m、長さ390mもあり、橋の真ん中から下を流れている川を見ると、とても怖いと思いましたが、初めての経験だったので怖さ以上にワクワクして楽しかったです。2点目は、ジュニアフェスタ2017の準備をしたことです。ジュニアフェスタとは、ジュニアリーダーが自分達で夏フェスタのようなとても盛り上がるイベントを作り上げることです。みんなで協力して会場設営や音響の準備をしました。本番では、劇をする班や、ダンスや歌でみんなを盛り上げる班もいて、今まで見たことのない周りの盛り上がりにも、大変驚きました。準備から本番まで参加したみんなが一つになったような気がして気持ち良かったです。

最後に、友達づくりで思ったことは、奄美でも研修会で友達になった人が、大分の大会にも参加していて、その友達とばかり話をしていましたが、他の人とも友達になりたいと思い、自分から声を掛けてみました。すると、すぐに打ち解けて話しかけてくれるようになり友達が増えました。自分から勇気を出して良かったなと感じました。今後、与論を離れて生活する時にも、同じように勇気を出してみようと思いました。

《第13回でっかい夢語り大会INヨロン》

毎年恒例の標記大会が、8月26日(土)に第35回与論町子ども会大会の前に砂美地来館で行われました。各小・中学校の代表が、自分の夢について工夫を凝らしながら堂々と発表してくれました。

審査の結果は、以下の通りです。

【小学校の部】

○最優秀賞

茶花小学校 6年 原田 咲夢  
「与論の歯科衛生士に」

○優秀賞

茶花小学校 5年 松永 珠春  
「わたしの夢は警察官」  
与論小学校 6年 吉田 莉萌  
「夢は海賊」

○優良賞

与論小学校 5年 内野 勇清  
「台風に負けない家を作るために」  
那間小学校 5年 寺嶋 優花  
「お母さんと同じ化学の先生に」  
那間小学校 6年 南 桜花  
「みんなを笑顔に」

【中学校の部】

○最優秀賞

与論中学校 3年 浮田 杏  
「与論の未来を築く子供たちへ」

○優秀賞

与論中学校 1年 叶 和真  
「与論ブランドを世界へ」  
与論中学校 2年 鶴田 小春  
「みんなの笑顔のために」



【10月の主な行事】

- 8日(日) 第53回町民体育大会
- 9日(月) 祝 体育の日
- 12日(木) 小学校陸上記録会
- 19日(木) 就学時検診(中央公民館)
- 21日(土) 町立3こども園運動会
- 22日(日) ハレルヤこども園運動会
- 28日(土) ユンヌ検定
- 29日(日) 与論中学校第70回文化祭



《子ども会花壇づくり研修会》

7月30日(日)各子ども会の花壇を廻り花壇づくりの研修会が行われました。これまでの取組やこれからの抱負が語られ、季節や場所に合った花木の選択や育て方について研修し、来春の花壇コンクールに向けて貴重な教訓が得られました。



(東区1班の花壇を研修する様子)

